

YAMAHA

GUITAR AMPLIFIER
VR3000

GUITAR AMPLIFIER
VR5000

取扱説明書

●ごあいさつ

このたびは、YAMAHAギターアンプファイアVR3000/VR5000をお買い求めいただきました。まことにありがとうございます。

VR3000/VR5000は、限りない可能性を秘めた新しいコンセプトのギターアンプです。贅沢なまでのサウンド、信頼性、操作性、機能性、どのファクターも万全です。

優れた性能を充分に発揮させ、長年支障なくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

●特長

★2チャンネル仕様

2つのチャンネルを持っており、プリアンプからリバーブまで独立した設計となっています。このため、AチャンネルとBチャンネルに異なったセッティングをしておくことができ、希望するタイミングで自由に切り替えて使用できます。

なお、A、Bチャンネルは全く同じ仕様になっています。

★幅広い音づくりが可能

ブースト機能付のゲインコントロールをはじめ、ファット機能付のボリューム、ブライツ機能付の3バンドトーンコントロールなど、様々なツマミを装備しています。そして、プレイヤーの要求する幅広い音づくりに忠実に対応します。

★パラメトリックイコライザー

両チャンネルにパラメトリックイコライザーが装備されており、狙ったポイントを正確に、大胆にブースト/カットできます。

VR5000は、そのうえツインパラメトリックイコライザーです。

★リバーブ内蔵

ギターサウンドにかかせない高品位のリバーブユニットを採用しています。

★新開発大口径スピーカー

スピーカーは、アンプ本体と同時開発のアルミキャップ付大口径型です。低域から高域まで、パワフルでメリハリのきいたサウンドが特長です。

★エフェクトループ

外部エフェクター接続用のエフェクトループ端子を装備しています。外部エフェクターで効果を付加した後、リバーブをかけることができます。

★ラインアウト&ヘッドホンジャック

ラインアウトジャックを装備しており、ミキサーへの立ち上げや外部パワーアンプの設置が可能です。さらに、モニター用のヘッドホンジャックを装備しています。

★フットスイッチ端子を装備

別売のフットスイッチVFC-2を接続すれば、A、Bチャンネルの選択や、リバーブのON/OFFを足もとで行えます。

●目次

ご注意	2
コントロールパネル	3
リアパネル	5
接続例	6
セッティングサンプル	7
仕様	9
ブロックダイアグラム	10
サービスについて	11

●ご注意

◇次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- ・直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

◇スピーカー等の損傷を防ぐため、接続コードの脱着時や電源のON/OFF時には、VOLUMEを必ず反時計方向に回し、音量を絞ってください。

◇電源は必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続してください。

◇ヒューズ交換の際には、必ず当社規定のものをご用意ください。

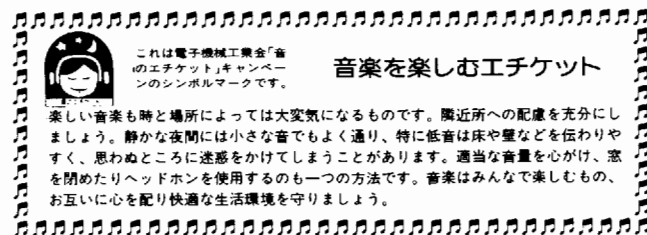
◇リアパネルのAC OUTLETは250Wまで供給できます。これ以上の消費電力の機器には使用しないでください。

◇物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。

◇安全のため落雷の恐れのある時は、電源コンセントから電源プラグを抜き取ってください。

◇雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離してご使用ください。

◇故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造しないようにしてください。



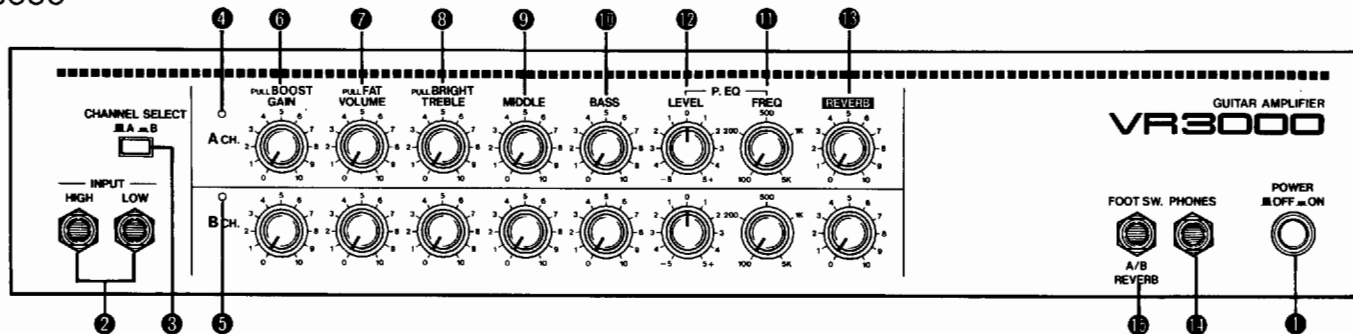
これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

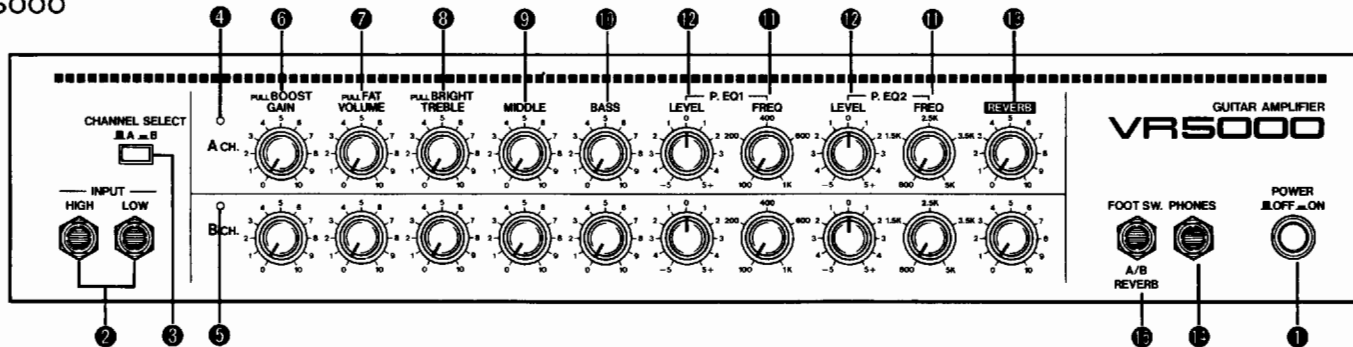
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

●コントロールパネル

・VR3000



・VR5000



①POWERスイッチ

電源スイッチです。

②INPUTジャック

HIGH : ギターは、通常この端子に接続します。
 なお、高感度、高インピーダンスのためディストーションが得やすく、ブライトな音色になります。

LOW : 低感度、低インピーダンスのため、HIGH INPUTに接続した時よりも音量レベルは低く、ディストーションのかかりの少ないソフトな音になります。
 ハイレベルアウトのギターやキーボードなどは、通常この端子に接続します。

③CHANNEL SELECTスイッチ

チャンネルを選択するスイッチです。スイッチを「■」の状態にするとAチャンネルが動作して、Aチャンネルのセッティング音で鳴り、スイッチ「■」の状態にするとBチャンネルのセッティング音で鳴ります。

※フットスイッチでも切り替えが可能です。フットスイッチを接続すると、このCHANNEL SELECTスイッチは働かなくなります。

④Aチャンネルインジケータ

⑤Bチャンネルインジケータ

動作状態にあるチャンネルのインジケータが点灯します。

⑥GAINコントロール(PULL BOOSTスイッチ付)

各チャンネルのディストーションの質感(音の歪み具合)を決めることができます。
 ツマミを「10°側」に回すほど、ゲインが上がり音量が上がると共に、ディストーションのかかりが強くなります。またつまミを手前に引くと、ブースト機能がONされて、ディストーションのかかりがさらに強くなります。

⑦ VOLUMEコントロール(PULL FATスイッチ付)

音量をコントロールするつまみです。なお、つまみを手前に引くと、ファット機能がONされて中域が強調され、腰のある太い音になります。

音の歪み具合および音量は、⑥のGAINコントロールとこのつまみの設定関係によって決まります。基本的に設定は、まず⑥のGAINコントロールで歪み具合を調整し、次にこのつまみで音量を調整します。

※⑥、⑦のつまみのどちらか一方でも“0”にすると、音が出なくなります。

⑧ TREBLEコントロール(PULL BRIGHTスイッチ付)

高域のレベルをコントロールするつまみです。なお、つまみを手前に引くと、ブライツ機能がONされて高域が強調され、明るい音になります。

⑨ MIDDLEコントロール

中域のレベルをコントロールするつまみです。

⑩ BASSコントロール

低域のレベルをコントロールするつまみです。

※⑧～⑩の各コントロールのつまみを“5”の位置にすると、ノーマルなサウンドになります。また、⑧～⑩のつまみを全て“0”の位置まで下げると、音が出なくなります。

⑪ P. EQ FREQコントロール

パラメトリックイコライザー効果の周波数ポイントをコントロールするつまみで、設定した周波数を中心にイコライジングできます。

・VR3000

100Hz～5 kHzの範囲で設定できます。

・VR5000

ツインパラメトリックイコライザーとなっているため、P. EQ 1とP. EQ 2では可変範囲が異なります。2ポイントのイコライジングが可能です。

P. EQ 1 : 100Hz～1 kHzの範囲で設定できます。

P. EQ 2 : 800Hz～5 kHzの範囲で設定できます。

⑫ P. EQ LEVELコントロール

⑪のP. EQ FREQコントロールで設定した周波数ポイントを中心にして、最大±15dBの範囲でブーストまたはカットできます。

なお、イコライジングを必要としない場合には、つまみを“0”の位置にしてください。

⑬ REVERBコントロール

本機内蔵のリバーブによる残響効果の強さをコントロールするつまみです。

なお、リバーブを必要としない場合には、つまみを“0”の位置にしてください。

※フットスイッチを接続すれば、足もとでリバーブ効果をON/OFFできます。

⑭ PHONESジャック

8Ω～150Ω程度のヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンにより、スピーカーやLINE OUTジャックから出力される信号と同じものをモニターできます。

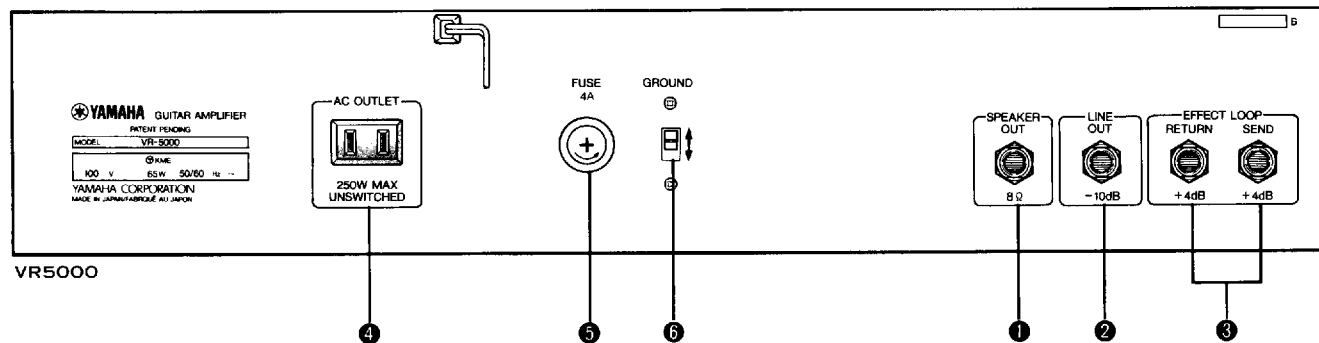
なおヘッドホンを接続しても、スピーカーからも音が出ます。スピーカーの音を切りたい時は、リアパネルのSPEAKER OUTジャックに接続されているスピーカーのプラグを抜いてください。

⑮ FOOT SW. ジャック

別売のフットスイッチVFC-2を接続する端子です。VFC-2を接続すれば、足もとでA、Bチャンネルの選択、リバーブ効果のON/OFFが可能になります。

※フットスイッチはVFC-2をご使用ください。他のスイッチを使用すると故障の原因となることがあります。ご注意ください。

●リアパネル



① SPEAKER OUTジャック

このジャックには内蔵スピーカーが接続されていますが、必要に応じ内蔵スピーカーを外して、外部スピーカーを接続することができます。その場合、外部スピーカーは、システムインピーダンスが 8Ω で、本機の出力に充分対応できる許容入力を持ったものにしてください。

② LINE OUTジャック

ミキサーやパワーアンプなどを接続する増設用の端子です。ここからは、内蔵スピーカーに送られる音と同じものが出力されます。規定出力レベルは -10dB です。

③ EFFECT LOOPジャック

外部エフェクターを挿入するための端子です。RETURN端子にプラグを差し込むと、内部回路が切れてエフェクターからの信号が入力されるしくみです。規定出力レベルおよび規定入力レベルは $+4\text{dB}$ です。

※外部エフェクターで効果がかかった後、本機内蔵のリバーブで効果がかかります。

④ AC OUTLET(UNSWITCHED)

非連動式のACコンセントです。消費電力 250W 以下の機器に使用できます。

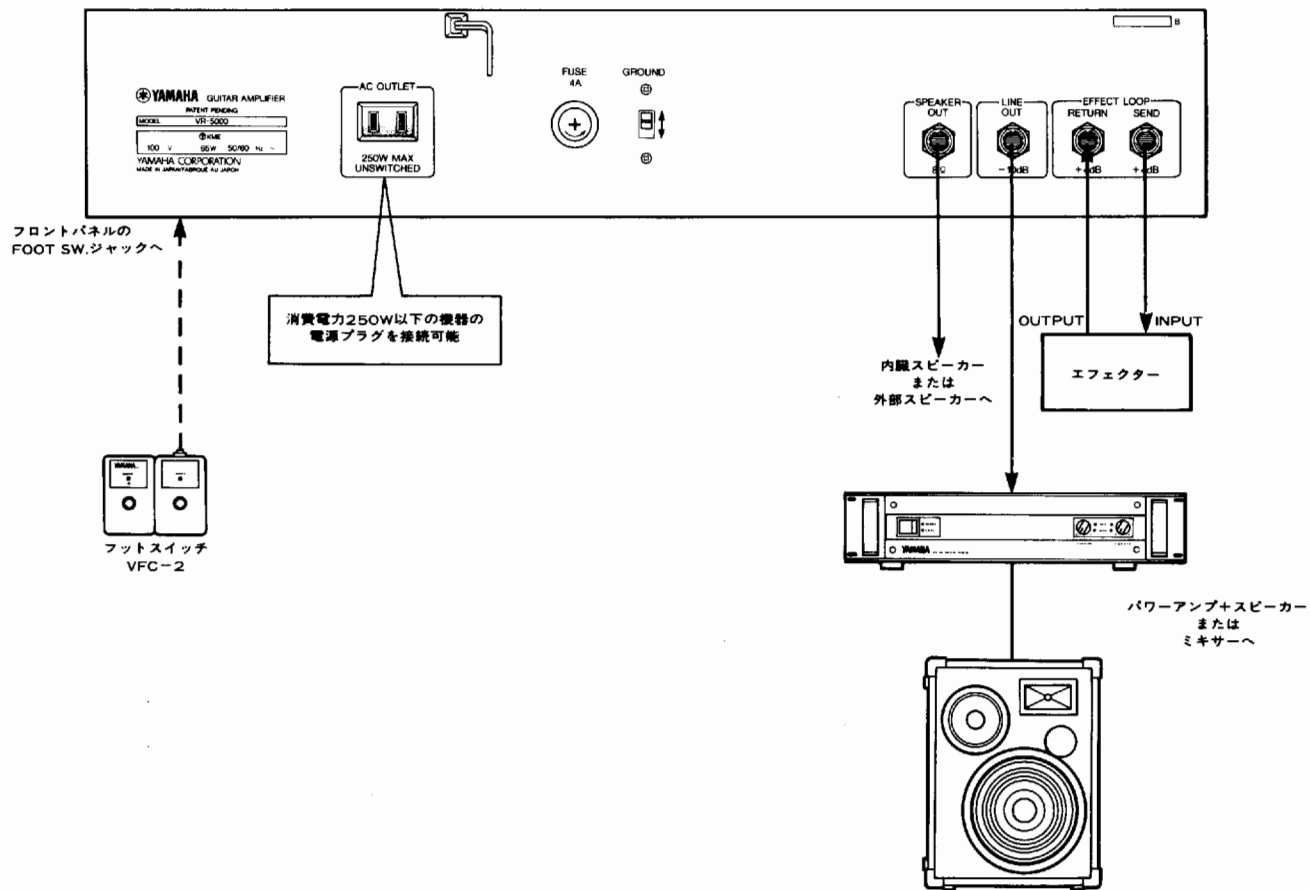
⑤ FUSE

ヒューズ交換の際には電源プラグをコンセントから抜いた後、規定のものと交換してください。なお交換してもすぐに切れてしまう場合には故障が考えられますので、お買い上げ店もしくは最寄りのサービスセンターにご相談ください。

⑥ GROUNDスイッチ

AC電源のアースの極性を切り替えるスイッチです。ハムや雑音が大きい場合には、逆のポジションに切り替えるとこれらが軽減することがあります。

●接続例



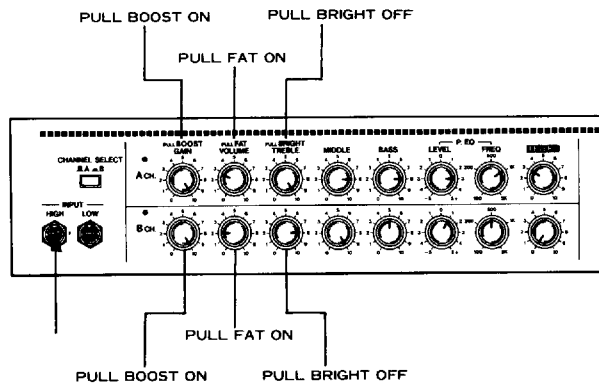
●セッティングサンプル

1.メタルサウンド

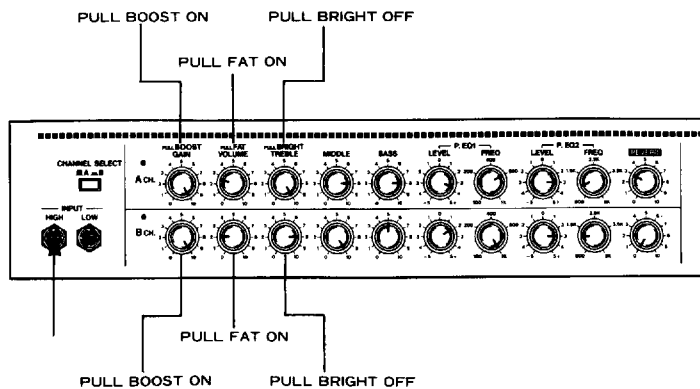
Aチャンネルはソロ時のセッティングで、高域が強調された、かためでヌケのよい音です。

Bチャンネルはバックアップ時のセッティングで、ファットぎみの気持ちよい甘さの音です。

・VR3000



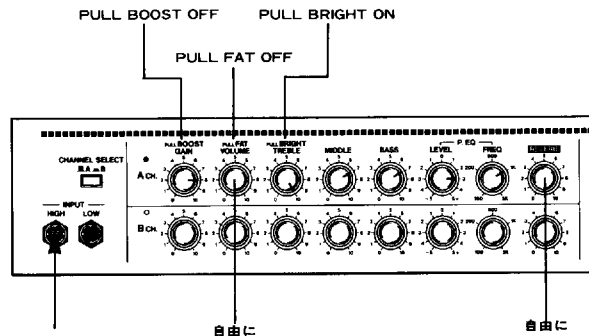
・VR5000



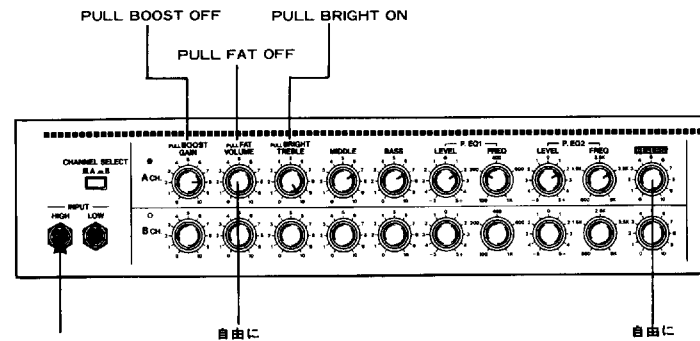
2.ロックンロール

歪みは適度におさえ、トレブル10, ブライトONにすることによりタイトな歯切れの良いサウンドとなっています。ギターのパックアップセクターは、リアポジションにしてください。

・VR3000



・VR5000

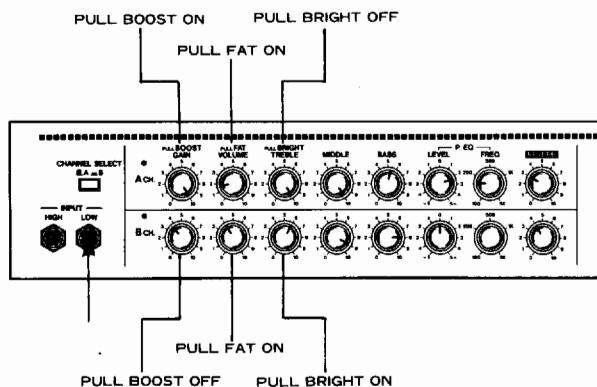


3. アメリカンロック

Aチャンネルはソロ時のセッティングで、ファットでねばりのある音をねらってブーストとファットをON。そしてイコライジングをしたうえで、リバーブで味つけをしています。

Bチャンネルはバックング時のセッティングで、リズムカルにバックングが可能なようにフラットな感じをねらっています。

・VR3000

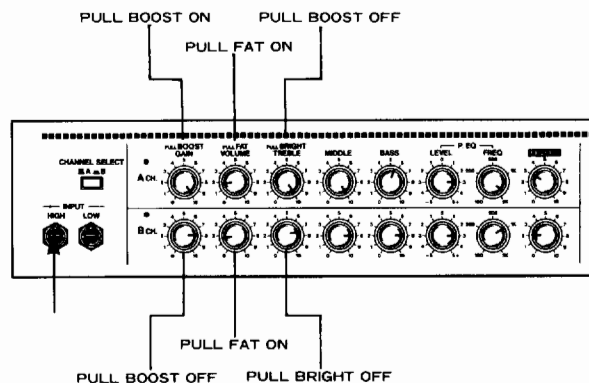


4. ブルースロック

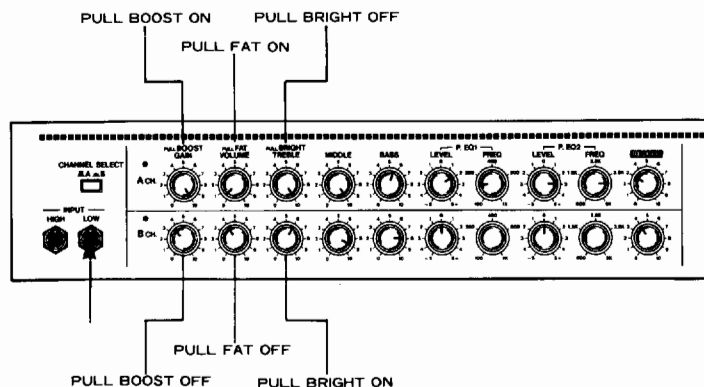
Aチャンネルはワウペダルを少し踏み込んだ時の感じ、Bチャンネルはワウペダルを戻した時のフラットな感じをねらっています。

チャンネルを切り替えた時、ペダルをコントロールしたようなニュアンスとなります。

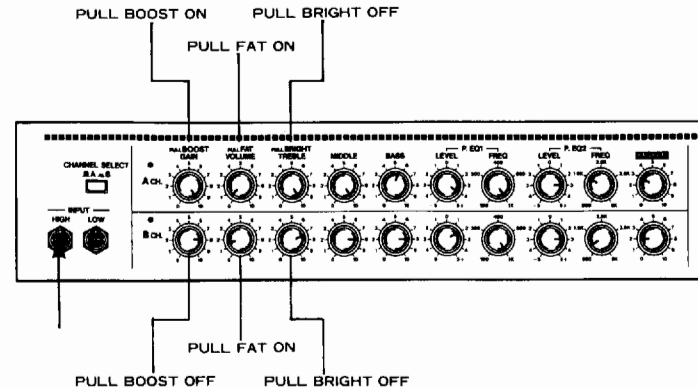
・VR3000



・VR5000



・VR5000



●仕様

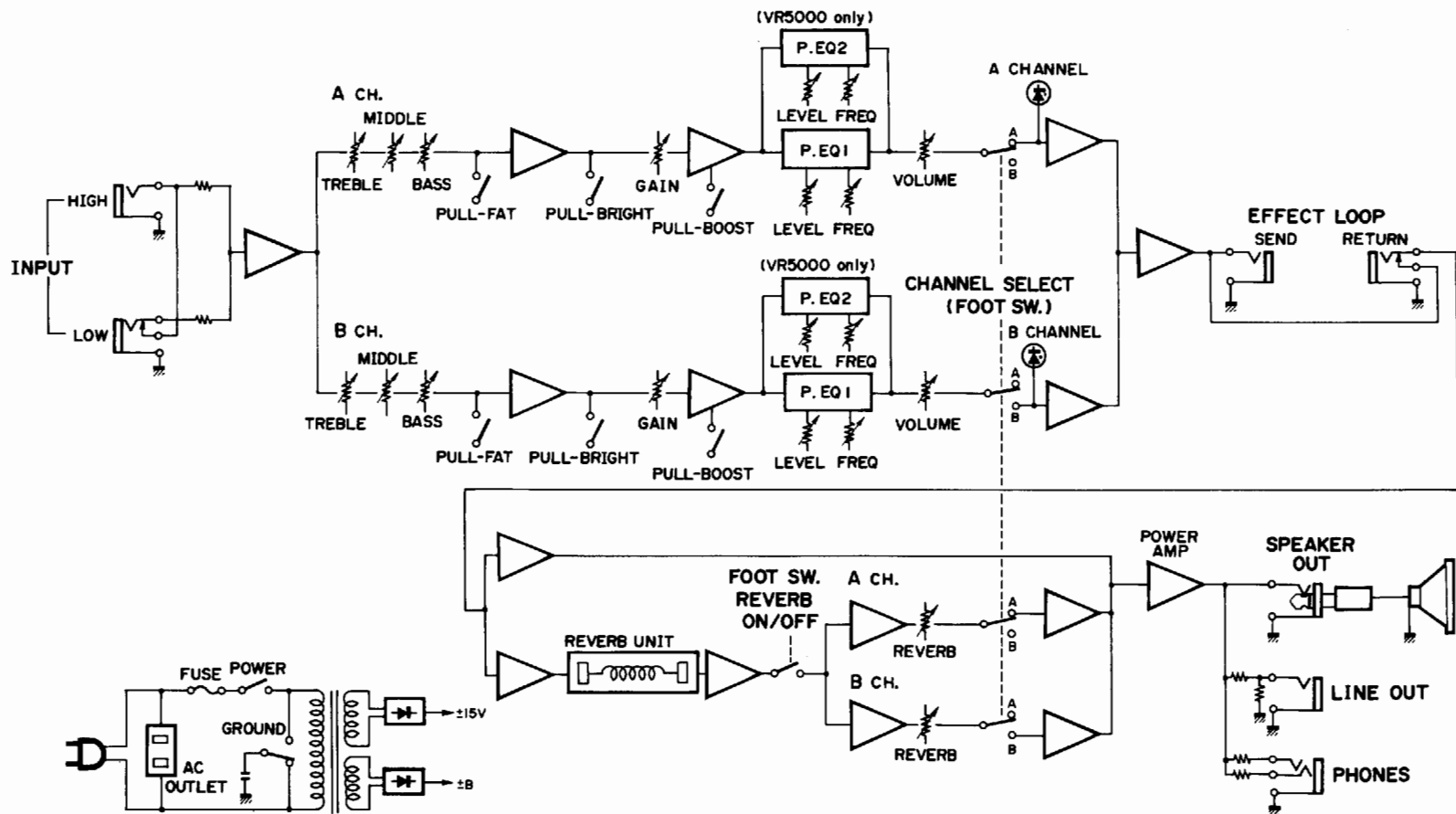
型名	VR3000	VR5000
定格出力	50Wr.m.s. (8Ω, T.H.D.10%)	100Wr.m.s. (8Ω, T.H.D.10%)
スピーカー	30cm×1(8Ω)	
エンクロージャー	後面開放型	
入力感度(1kHz) INPUT A, B	HIGH: -44dB(GAIN最大,VOLUME最大) LOW: -32dB(GAIN最大,VOLUME最大)	
入力レベル EFFECT RETURN	+4dB(47kΩ)	
出力レベル SPEAKER OUT LINE OUT EFFECT SEND PHONES	定格出力の項参照 -10dB(600Ω) +4dB(600Ω) 100mW(8Ω)	
ノイズ(IHF-A) A, Bチャンネル	-21dB(GAIN最大,VOLUME最大, pull BOOST) -51dB(GAIN最小,VOLUME最大) -64dB(GAIN最小,VOLUME最小)	
Pull BOOST	+10dBアップ	
Pull FAT	400Hz基準, +10dBアップ	
トーンコントロール TREBLE MIDDLE BASS	5kHz基準, ±15dB可変 (Pull BRIGHT: +12dBアップ) 800Hz基準, ±19dB可変 80Hz基準, ±15dB可変	
パラメトリックイコライザー P. EQ FREQ P. EQ LEVEL	100Hz~5kHz可変 ±15dB可変	P. EQ1 100Hz~1kHz可変 P. EQ2 800Hz~5kHz可変 ±15dB可変
リバーブコントロール REVERB	リバーブ(スプリング式) 可変可能	

型名	VR3000	VR5000
スイッチ	POWER ON/OFF, CHANNEL SELECT, GROUND	
電源	AC100V, 50/60Hz	
消費電力	48W	65W
寸法(W×H×D)	529mm×541mm×275mm	
重量	18.7kg	20.4kg

・0dB=0.775Vr.m.s.

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

●ブロックダイアグラム



●サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまにご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

■YAMAHA 電気音響製品サービス拠点

(お預り修理窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区本町1184 TEL (044) 434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8(シルバードールビル2F) TEL (025) 243-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新島屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5282
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸龜町8-7(ヤマハ高松店内) TEL (0878) 51-7777、22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中区玉川町2-1-2 (ヤマハ名古屋流通センター3F) TEL (052) 652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5丁目7(卸番共同配送センター3F) TEL (022) 236-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区紙屋町西原2-27-39 TEL (082) 874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 65-6711
本社 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 65-5195

ヤマハ株式会社 LM事業本部

ロードエレクトロニクス	〒430 浜松市中浜町10-1 TEL 0534(80)2431
国内営業部	〒150 渋谷区道玄坂2-10-7 新大宮ビル3F TEL 03(476)1521
東京事業所	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL 03(574)8592
大阪事業所	〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 TEL 06(252)5231
名古屋営業所	〒460 名古屋市中区錦1-16-28 TEL 052(201)5145
九州営業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL 092(472)2155
札幌営業所	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目 ヤマハセンター TEL 011(612)6113
仙台営業所	〒980 仙台市大町2-2-10 TEL 022(222)6146
広島営業所	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL 082(244)3744

*住所及び電話番号は変更になる場合があります。